

特集／1町2村(高宿町・西五百川村・大谷村)の合併から半世紀…  
田政スポット／朝日堆肥センター試運転開始 台風被害に町税減免条例を制定  
豊龍の丘現場内覧会 消防ポンプ自動車更新  
平成16年度上半期予算執行状況を公表 ほか  
まちの話題／朝日町町制施行50周年記念事業「秋葉山緑化推進記念植樹」  
第40回町芸術文化祭 寒河江西村山地区女声ヨーラス交歓会  
旧小学校を利用し多彩なイベント開催 ほか

くづかけ  
東京都杉並区立沓掛小学校のみなさん  
心温まる贈り物をありがとう

祝 朝日町町制施行50周年  
(11月3日：町芸術文化祭 創遊館での1コマ)



# 広報 あさひまち

2004年11月  
No. 576

# 施行50周年



菊薫る秋冷の本日、ここに多くの来賓のご臨席を賜り、朝日町町制施行五十周年記念式典を挙行できることは、この上もない喜びとすることあります。

五十周年を迎えるにあたり、今までの歩みを振り返つてみると、歴代町長を初め諸先輩方の郷土愛と一途な町づくりの情熱により、着実に発展してまいりました。電源の開発、道路交通網の整備、農業の近代化の促進、町立病院の開設、上下水道の整備、合併浄化槽の普及推進、更に教育



## 町政発展にご尽力いただいた方々に感謝 式辞 清野 隆 町長

環境の整備、特別養護老人ホームの建設、創遊館の建設等がありますが、中でも定住対策の一端として宅地造成に挑み人口の流出を防ぐとともに、アップルカップル事業において有望な青年たちのカップルが次々と誕生。二世の誕生を見ることができました。

町制施行五十周年の意義は、過去の歩みを顧みるのみでなく、来たるべき次の世代に今までの歩みをどう生かしていくかにあると思います。地方分権の施行や三位一体の改革が進む今日、厳しい財政状況の中ではありますが、自己決定、自己責任に基づいた地方自治体の構築を図り実現しなければなりません。

私は、朝日町農業の基幹作物であるりんごにこだわり、振興策に力を入れてまいりました。本日、「朝日町りんごの日」の発表が行なわれます。が、皆様方のご理解とご協力をいただき、これを機に更なる発展を期すものであります。また本日、町制各般にわたりご尽力され表彰を受けられます方々、そしてまた、家庭を守り深い理解と愛情をもつてご苦心されましたご家族の方々に、町民を代表し敬意と感謝を申し上げます。

結びに、今まで町制発展のためご尽力賜りました諸先生各位、そして皆様の熱意と努力に深い敬意と謝意を表します。（要約）

昭和二十九年十一月一日、当時の一町二村（宮宿町、西五百川村、大谷村）が合併し「朝日町」が誕生してから、今年でちょうど五十年目を迎えます。これを記念しこれまで開催された様々な事業を、広報紙では隨時紹介してきました。上方演芸会（六月）に始まり、さなぶりコンサート（六月）、花やから公演（八月）、郷土芸能の祭典（八月）、町内三保育園合同運動会（九月）、交通安全町民大会（九月）、わくわくドキ

ドキ人形劇まつり（十月）、アップル町民駆伝競走大会（十月）と、今でも記憶に残る事業が次々と開催されました。そして、十一月一日、町内外から約三百人が招待され、町誕生を祝う記念式典が創遊館ホールで盛大に開催されました。

今回の特集では、朝日町の半世紀を振り返るとともに、記念式典の模様などを紹介し、みなさんと一緒に喜びを分かち合いたいと思います。

# 朝日町町制

## 朝日町りんごの日制定発表

### 11月の第3日曜日は 朝日町りんごの日

毎年、11月の第3日曜日を「朝日町りんごの日」とします。りんごの日には「りんごまつり」を開催し、生産者はもとより町民が一丸となって朝日町りんごの消費宣伝に努めます。



朝日中吹奏楽部による演奏が式典に華を添えた

## 名実ともに日本一の りんごの町 りんごの日を条例化

朝日町農業の基幹作物であるりんごは、明治20年、朝日町に初めて植栽されました。以来100年を越える長い歴史の中で、新品種の導入や品質向上をめざし、諸先輩方の研究と努力が積み重ねられました。特に、昭和46年には、全国に先駆けてふじの無袋栽培技術が確立され、品質のすばらしさで名実ともに日本一の銘柄産地となりました。

この輝かしい伝統を守りながら更なる継承発展とりんごの消費拡大をめざし、「朝日町りんごの日条例」を平成16年9月の町定例議会で制定しました。

議会を代表して、一言ごあいさつ申し上げます。歴代町長をはじめ諸先輩の皆様の一方ならぬご努力で、わが町の開発と道路交通網の整備、農業をはじめとする産業基盤の整備、教育環境の整備、生活環境の整備などが図られ、住み良いまちをつくりあげることができました。これも、ひとえに、町民の皆様方の長年のご努力、ご協力、指導の賜物であります。

そしてまた、県当局をはじめ関係機関の格別なご支援、ご指導の賜物であります。長引く景気低迷、少子高齢

議員定数検討特別委員会を行い、平成十五年の統一地方選挙から議員定数の見直しを行い、平成十五年の統一地方選挙から議員定数を二人減の十六人としたところですが、更に議員定数を減らすべきだという町民の意見に応えるため、議会内に議員定数検討特別委員会を設置。検討を重ねた結果、四人を減らし定数を十二人にすべきであるとの結論に達したと

最後に、朝日町の限りない発展と町民の皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げ、あいさついたします。(要約)



課せられた命題は新しい朝日町の創造  
あいさつ 川口 幸次郎 町議会議長

こうであります。

我が町農業の基幹作物であるりんごについては、本日、「朝日町りんごの日」制定の発表が行われますが、市場から頂戴している日本一の折り紙を不動のものとし、更なる振興と発展を祈念するもので

あります。

朝日町誕生五十周年という大きな節目を越えようとしている私たちに課せられた命題は、世代から世代へ、諸先輩の意思を引き継ぎ、新しい朝日町を創造していくことになります。

# 朝日町誕生から半世紀の歩み

昭和29年	11月 宮宿町・西五百川村・大谷村が合併し朝日町誕生
	11月 第1回町議会開催 初代議長に鈴木幸次郎氏初当選
昭和30年	12月 初の町長選挙 初代町長に村山善一郎氏初当選
昭和31年	4月 町連合婦人会発足 初代会長に布施なかる氏
昭和32年	4月 町連合青年団結成 初代団長に菅井信夫氏
昭和33年	5月 朝日川電源開発に着手
昭和34年	8月 都市計画(宮宿中心街)事業に着手
昭和35年	6月 町立朝日病院完成(開院)
昭和36年	8月 第1回市民登山開催
昭和37年	10月 大谷地区に上水道完成
昭和38年	11月 朝日川第1発電所完成
昭和39年	12月 木川部落に電灯が入り無灯火部落解消
昭和40年	6月 太平橋(吊り橋)完成
昭和41年	7月 豊龍神社の大杉が県天然記念物に指定
昭和42年	8月 西村山地区駅伝で初優勝
昭和43年	9月 石須部橋完成
昭和44年	4月 町広域水道事業に着手
昭和45年	7月 村山善一郎県議病気のため逝去
昭和46年	10月 故村山善一郎氏に名誉町民の称号贈る
昭和47年	11月 旧北部公民館完成
昭和48年	12月 太平橋(吊り橋)完成



第2代鈴木町長



昭和30年当時の農作業



初代村山町長



1町2村の合併推進協議会（昭和29年）



町誕生10周年記念祭（昭和38年）



町章選考風景（昭和38年）

昭和40年	4月 豊龍神社の大杉が県天然記念物に指定
	7月 町芸術文化協議会結成
昭和41年	10月 村山善一郎県議病気のため逝去
昭和42年	10月 故村山善一郎氏に名誉町民の称号贈る
昭和43年	11月 旧北部公民館完成

太平橋(吊り橋)完成  
町広域水道事業に着手  
西村山地区駅伝で初優勝  
石須部橋完成



上郷ダム発電所完成（15000キロワット）



第3代志藤町長



第1回ダム祭り開催（昭和44年）



送橋小学校で完全給食実施（昭和39年）



民家が水没した羽越豪雨（昭和42年）



部落対抗マラソン大会（昭和39年）

特集①町2村(宮宿町・西五百川村・大谷村)の合併から半世紀…

昭和56年	4月	宮宿小学校新校舎完成
昭和55年	2月	西五百川小学校新校舎完成
昭和55年	5月	大船木橋完成
昭和55年	9月	県青年大会開催
昭和55年	10月	水本小学校体育館完成
昭和55年	10月	電話町内完全自動化なる
昭和55年	8月	名誉町民鈴木清助氏逝去
昭和55年	11月	第1回産業まつり開催
昭和55年	11月	ナイター施設完成
昭和55年	8月	高齢者生産活動センター完成
昭和55年	7月	北部体育館・町民武道館完成
昭和55年	3月	



白倉スキー場オープン（昭和54年）

昭和54年	9月	朝日中学校開校
昭和53年	9月	ワイン工場完成
昭和52年	5月	町観光協会設立
昭和51年	4月	交通死亡事故ゼロ1000日達成
昭和50年	1月	全国学芸コンクールで朝日分校の佐 賛を受賞



#### 第4代小林町長

昭和50年	11月	町誕生20周年記念祭開催 町の木「ブナ」町
4月	11月	町内3農協合併し朝日町農協としてスタート
	11月	町民憲章制定
	11月	農村総合整備モデル事業に着手
昭和51年		
5月		最上川中流水利事業古墳工区でガス爆発事故

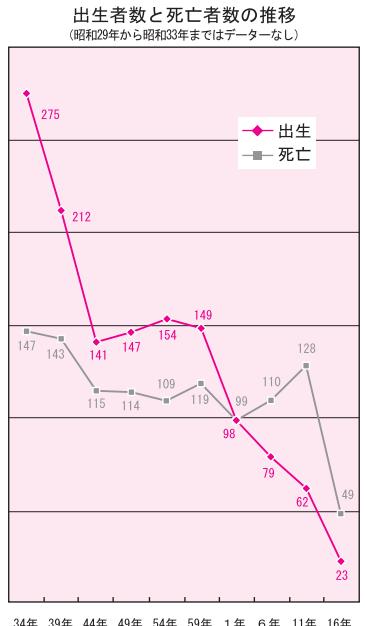
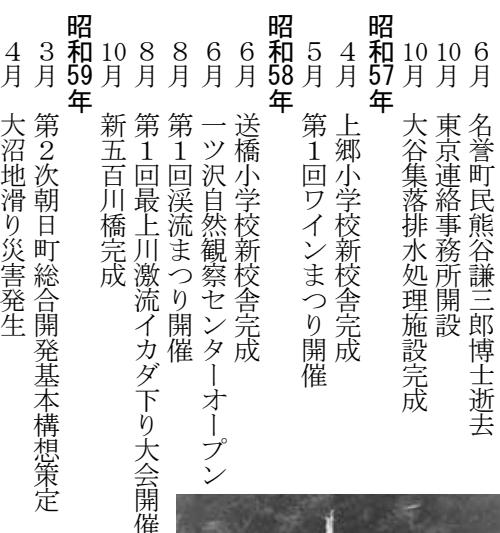
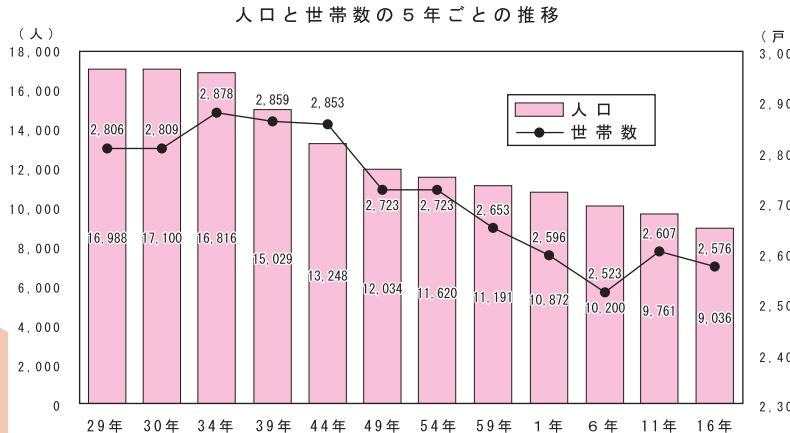


## 山形県青年大会開催（昭和55年）

昭和50年	11月	町誕生20周年記念祭開催
昭和51年	4月	町内3農協合併し朝日町農協としてスタート
	11月	町民憲章制定
昭和52年	5月	農村総合整備モデル事業に着手
	12月	最上川中流水利事業占積工区でガス爆発事故発生
9月	4月	朝日中学校開校
	4月	ワイン工場完成
	5月	町観光協会設立
昭和53年	9月	交通死亡事故ゼロ1000日達成



最上川中流水利事業でガス爆発事故発生  
(昭和51年)



全国久々下川選手権大会（昭和50年）



## 五百川橋完成を祝うパレード (昭和58年)

8月	朝日町ママさんソフトボールチーム県大会で優勝	9月	朝日町立病院改築始まる
10月	第1回町民駅伝競走大会開催	10月	町誕生30周年記念式典開催 町の動物「カモシカ」
11月	秋葉山グラウンド完成	11月	町の鳥「ヤマガラ」制定
昭和60年	健康増進センター完成	9月	国际エコーシンポジウム開催
昭和61年	町立病院新病棟完成	10月	国际エコーシンポジウム開催
2月	アイスワイン発売開始	10月	国际エコーシンポジウム開催
3月	町営路線バス立木白倉線運行開始	11月	秋葉山グラウンド完成
6月	西部地区総合運動場完成	11月	朝日町行政改革実施計画策定
昭和62年	朝日町行政改革実施計画策定	2月	馬神ダム完成
3月	山村留学制度発足	3月	神田神輿が来町
6月	水本小学校新校舎完成	9月	馬神ダム完成
昭和63年	西部地区総合運動場完成	12月	朝日町行政改革実施計画策定
2月	朝日町行政改革実施計画策定	1月	りんご二〇一年記念式典開催
4月	西、北部出張所の名称を廃止	4月	家族旅行村「朝日自然観」グランドオープン
9月	水本小学校新校舎完成	10月	フィリピン共和国アブカイ町と「友好の町」宣言
12月	馬神ダム完成	11月	八天橋完成
平成元年	馬神ダム完成	1月	りんご二〇一年記念式典開催
4月	西、北部出張所の名称を廃止	7月	空気まつり開催（平成2年）
9月	水本小学校新校舎完成	10月	朝日自然観グランドオープン（平成元年）
12月	馬神ダム完成	11月	りんご温泉オープン（平成3年）
平成2年	馬神ダム完成	1月	世界環境デーである6月5日を空気の日と制定
7月	空気まつり開催	3月	志藤六郎氏（栗木沢出身）町に1億円を寄付
9月	宣言を議決	6月	国际エコーシンポジウム開催
10月	北川環境庁長官を招いて朝日自然観で第1回空気まつり開催	7月	町民プールオーブン
11月	全国消防操法大会に第1分団第1部出場	9月	志藤六郎氏に名誉町民の称号贈る
1月	全日本女子剣道選手権で優勝した近藤洋子さん（栄町）に初の町民栄誉賞贈る	10月	第5代町長に清野隆氏が初当選
3月	立木小学校新校舎完成	11月	第5代町長に清野隆氏が初当選
6月	第3次朝日町総合開発基本構想・基本計画策定	1月	世界環境デーである6月5日を空気の日と制定
8月	朝日町ワインのオーナー制度始まる	3月	志藤六郎氏（栗木沢出身）町に1億円を寄付
8月	「りんご温泉」と「朝日町農業研究所」完成	6月	国际エコーシンポジウム開催
8月	人材養成事業F21プロジェクトスタート	7月	町民プールオーブン
11月	八ツ沼・大谷角田流獅子踊りが県無形民俗文化財に指定	9月	志藤六郎氏に名誉町民の称号贈る



りんご温泉オープン（平成3年）



空気まつり開催（平成2年）



朝日自然観グランドオープン（平成元年）

3月	西部公民館落成	3月	世界環境デーである6月5日を空気の日と制定
6月	国际エコーシンポジウム開催	6月	国际エコーシンポジウム開催
7月	志藤六郎氏（栗木沢出身）町に1億円を寄付	7月	志藤六郎氏（栗木沢出身）町に1億円を寄付
9月	志藤六郎氏に名誉町民の称号贈る	9月	志藤六郎氏に名誉町民の称号贈る
10月	第5代町長に清野隆氏が初当選	10月	第5代町長に清野隆氏が初当選
11月	第5代町長に清野隆氏が初当選	11月	第5代町長に清野隆氏が初当選
平成4年	世界環境デーである6月5日を空気の日と制定	3月	世界環境デーである6月5日を空気の日と制定
4月	ヒマラヤ未踏峰ピラミッドピーク（7123メートル）に初登頂した鈴木正典	4月	ヒマラヤ未踏峰ピラミッドピーク（7123メートル）に初登頂した鈴木正典
7月	氏（栄町）に町民栄誉賞贈る	7月	氏（栄町）に町民栄誉賞贈る
9月	菅井功氏（沼回）中国政府より「友誼奨章」受賞	9月	菅井功氏（沼回）中国政府より「友誼奨章」受賞
11月	第5代町長に清野隆氏が初当選	11月	第5代町長に清野隆氏が初当選
平成5年	3人目出産祝い金交付	平成5年	3人目出産祝い金交付
4月	ヒマラヤ未踏峰ピラミッドピーク（7123メートル）に初登頂した鈴木正典	4月	ヒマラヤ未踏峰ピラミッドピーク（7123メートル）に初登頂した鈴木正典
7月	山形朝日農協が「さがえ西村山農協」に合併	7月	山形朝日農協が「さがえ西村山農協」に合併
9月	町誕生40周年記念事業開催	9月	町誕生40周年記念事業開催
11月	最上川清流エコシンポジウム開催	11月	最上川清流エコシンポジウム開催
平成6年	新宿薬師如来像が県指定有形文化財に指定	平成6年	新宿薬師如来像が県指定有形文化財に指定
3月	冷害による稻作被害発生	3月	冷害による稻作被害発生
4月	菅井功氏（沼回）中国政府より「友誼奨章」受賞	4月	菅井功氏（沼回）中国政府より「友誼奨章」受賞
6月	菅井功氏（沼回）中国政府より「友誼奨章」受賞	6月	菅井功氏（沼回）中国政府より「友誼奨章」受賞
8月	菅井功氏（沼回）中国政府より「友誼奨章」受賞	8月	菅井功氏（沼回）中国政府より「友誼奨章」受賞
10月	菅井功氏（沼回）中国政府より「友誼奨章」受賞	10月	菅井功氏（沼回）中国政府より「友誼奨章」受賞
11月	第5代町長に清野隆氏が初当選	11月	第5代町長に清野隆氏が初当選
平成7年	空気神社奉賛会が第1回地球賞受賞	平成7年	空気神社奉賛会が第1回地球賞受賞
3月	山形朝日農協が「さがえ西村山農協」に合併	3月	山形朝日農協が「さがえ西村山農協」に合併
4月	町誕生40周年記念事業開催	4月	町誕生40周年記念事業開催
6月	最上川清流エコシンポジウム開催	6月	最上川清流エコシンポジウム開催
8月	菅井功氏（沼回）中国政府より「友誼奨章」受賞	8月	菅井功氏（沼回）中国政府より「友誼奨章」受賞
10月	菅井功氏（沼回）中国政府より「友誼奨章」受賞	10月	菅井功氏（沼回）中国政府より「友誼奨章」受賞
11月	第5代町長に清野隆氏が初当選	11月	第5代町長に清野隆氏が初当選
平成8年	大谷小学校大沼分校新校舎完成	平成8年	大谷小学校大沼分校新校舎完成
3月	県議選で阿部賢一氏が初当選	3月	県議選で阿部賢一氏が初当選
5月	小林富蔵氏に名誉町民の称号贈る	5月	小林富蔵氏に名誉町民の称号贈る
6月	エコミュージアム国際会議開催	6月	エコミュージアム国際会議開催
8月	特別養護老人ホーム「ふれあい荘」完成	8月	特別養護老人ホーム「ふれあい荘」完成
10月	光センサーを導入したりんご選果場完成	10月	光センサーを導入したりんご選果場完成
11月	西五百川小三中分校閉校	11月	西五百川小三中分校閉校
1月	豪雪対策本部設置	1月	豪雪対策本部設置
3月	松程トンネル完成	3月	松程トンネル完成
5月	世界のりんご園開園	5月	世界のりんご園開園
7月	降雹被害（被害額4億円を超える）	7月	降雹被害（被害額4億円を超える）
9月	第1回りんごの町の夏まつり開催	9月	第1回りんごの町の夏まつり開催
11月	太郎橋完成	11月	太郎橋完成
平成9年	大隅遺跡旧石器発見60周年記念シンポジウム開催	平成9年	大隅遺跡旧石器発見60周年記念シンポジウム開催



特別養護老人ホーム「ふれあい荘」完成（平成7年）



国際エコシンポジウム開催（平成4年）



**朝日町誕生  
とともに50年  
普通の生活に  
満足しています**

清野庄治さん(平)  
9年11月1日生まれ】

【昭和29年11月1日生まれ】

この50年を振り返ってみると、決して  
楽な人生ではなかったと思います。小学  
時代には盲腸の悪化や腎臓を悪い、一時  
は死ぬ思いを2回ほど経験しています。  
体が弱かった私をここまで育ってくれた  
両親に感謝したいと思います。

高校卒業後は、家業のりんご栽培に従事。紅玉の樹3本から両親が始めたこの仕事を昭和49年から引き継ぎ、構造改善事業などの追い風を受けながら、これまで栽培面積を広げてくることができました。その間30年。

現在のりんご産業を取り巻く環境は厳しいものがありますが、じいちゃん、ばあちゃん、嫁、そして二人の子どもにも恵まれ、普通の生活ができていることに、嬉しさを感じているこの頃です。その子どもたちも私の後を継いでくれると言っていますので、それまでなんとか私なりに頑張ってみようかなと思っています。



創遊館オープン（平成12年）



町立病院新診療棟完成（平成10年）

平成16年	3月	水本小学校閉校
	4月	完全学校週五日制始まる
	5月	市町村合併調査研究会立ち上げ
	7月	早稲田大学留学生2泊3日の日程で朝日町を訪問
平成15年	1月	J S B A 公認第1回朝日自然観カツブハーフパイプ大会開催
	3月	送橋小学校・上郷小学校閉校
	3月	J S B A 公認第1回朝日自然観カツブハーフパイプスタイル大会開催
	4月	電話67局エリアにA D S L開通
	5月	プロ野球名球会員村田兆治氏 朝日中で講演・実技指導
	7月	名譽町民小林富蔵氏逝去
	7月	1市2町(寒河江・朝日・西川)による任意合併協議会発足
	7月	熊ノ山農村公園「見晴らしの丘」完成
	10月	国民文化祭・やまがた2003「人形劇フェスティバル」開催
	10月	町体育協会が文部科学大臣表彰を受賞
平成14年	4月	町税などの口座振替制度始まる
	5月	自立の道を選択 任意合併協議会を解散
	9月	11月第3日曜日を朝日町りんごの日と制定
11月	11月	町制施行50周年記念式典



ダチョウ展示園オープン  
(平成13年)

平成十六年度の朝日町自治功労者等の表彰式が、町制施行五十周年記念式典の中で行われ、町づくりに尽力し貢献された四団体十二個人に、表彰状と記念品が贈られました。

また、朝日町りんごの日制定を記念し、朝日町農業の基幹作物であるりんごの栽培・開発等に尽力し貢献された十人に、りんご功労者として表彰状と記念品が贈られました。

受賞された方々は次のとおりです。

## 自治功労

### ▼鈴木好一さん（八ツ沼）

平成三年から十三年五ヶ月の永きにわたり、町議会議員として地方自治の振興に貢献され、その間副議長等の要職を歴任し、町の振興発展に寄与されました。

### ▼今井俊助さん（前田沢）

昭和六十二年から十六年の永きにわたり、朝日町選挙管理委員として公正かつ適正な選挙執行に努力され、その間委員長の要職を歴任し、町の振興発展に寄与されました。

### ▼白田昭吉さん（大谷三）

平成元年から十五年の永きにわたり、朝日町民生児童委員として要保護家庭の自立更生指導に貢献され、その間副会長の要職を歴任し、地域福祉の向上に寄与されました。

### ▼菊地徳一さん（栗木沢）

平成元年から十五年の永きにわたり、朝日町民生児童委員として要保護家庭の自立更生指導に貢献され、地域福祉の向上に寄与されました。

## 社会福祉功労

### ▼渡邊友吉さん（白倉）

昭和六十一年から十八年の永きにわたり、朝日町民生児童委員として要保護家庭の自立更生指導に貢献され、その間副会長の要職を歴任し、地域福祉の向上に寄与されました。

## 産業功労

### ▼海野祐吉さん（能中）

昭和三十八年から永きにわたり、百三十名をこえる出稼ぎ者の引率を行うとともに、習得した技術を活用し朝日相扶製作所の発足と経営に努力され、地域経済の活性化に寄与されました。

## 感謝状贈呈

### ▼阿部為吉さん（常盤）

昭和五十九年十一月から二年六ヶ月及び平成十一年五月から五年二ヶ月にわたり、町議会議員として地方自治の振興に貢献され、町の振興発展に寄与されました。

### 業セントー

ダチヨウという新たな資源の導入により特産品開発など新たな産業おこしを行ふとともに、観光面で朝日町のPRに寄与されました。

## 善行褒賞

### ▼早坂 瞳さん（大谷五）

昭和五十七年から二十二年の



前列左から 今井俊助さん、川口議長、清野町長、海野祐吉さん  
後列左から 鈴木好一さん、早坂 瞳さん、菊地徳一さん  
白田昭吉さん、渡邊友吉さん



前列左から 橋口儀四郎さん(ヒグチ㈱代表取締役社長)、今井倭子さん  
川口議長、清野町長、若柳由美香さん、阿部旭祥さん  
後列左から 金田直治さん(アイジーアイ工業㈱代表取締役社長)、阿部為吉さん  
鈴木浩幸さん、佐藤俊實さん(㈲山形朝日オーストリッヂ産業センター代表取締役)  
中澤健爾さん(㈱協同測量社代表取締役社長)

# 特集○1町2村(宮宿町・西五百川・大谷村) の合併から半世紀… 朝日町町制施行50周年

▼ヒグチ株

駐車場を公共の利用に提供するとともに、町民が自由に利用できる掲示板を設置し情報の発信を行い、地域コミュニティの活性化に寄与されました。

▼アイジーアイ工業株(東根市)

アイジー基金を活用したアイデア工作コンクールをとおし、子どもたちの発明意欲の向上と創造力の育成に寄与されました。

▼若柳由美香さん(山形市)

日本舞踊のすばらしさを伝えながら、日本舞踊の振興と後継者の育成に尽力され、朝日町の芸術文化振興に寄与されました。▼今井倭子さん(前田沢)オペラのすばらしさを伝えな

がら、オペラの普及とコーラスグループの指導に尽力され、朝日町の芸術文化振興に寄与されました。

▼阿部旭祥さん(山形市)

朝日町の高齢者に書道の指導を行った書道のすばらしさを伝え、朝日町の芸術文化振興に寄与されました。

▼株協同測量社(長野市)

朝日町の地籍調査(昭和四十八年～平成十六年)の実施において、永年にわたり航空測量方法等の優れた測量技術を駆使し、精密にして正確な調査を行い、地籍調査事業の推進に寄与されました。

りんご功劳

▼多田光文さん(太郎三)

永年にわたり、ポリネーションに協力され、りんごの結実確保、品質向上に大きく貢献され、町のりんご産業の発展に寄与されました。

▼渡辺達男さん(古檍)

永年にわたり、古檍果樹組合の組合長として、優良品種の導入を積極的に推進するとともに、販売対策においても指定市場を絞り込むなど、朝日町りんごの発展に寄与されました。

▼村山誠一郎さん(大谷七)

親・子・孫と三代にわたり、りんご栽培に従事し、特に雪国

では困難とされたわい化栽培を導入し、雪国でも可能な剪定技術を確立するなど、朝日町りんごの名声を高めることに寄与されました。

▼鈴木啓一さん(大隅)

平成四年より四期八年間の永きにわたり、和合果樹組合長として組合員の収益増進に貢献され、その間「出羽ふじ」「初恋つがる」の導入など、朝日町りんご産業の発展に寄与されました。

▼清野庄一郎さん(四ノ沢)

永年にわたり、吉積果樹組合の役員・副組合長・組合長を歴任し、優良品種の導入や品種更新の指導助言を行い、生産組織

会議会長として「シナノスイート」の導入と統一販売を行なうなり、朝日町りんご産業の発展に寄与されました。また、朝日町セントアーリンゴ組合長並びに朝日町果樹組合連絡会議会長として「シナノスイート」の導入と統一販売を行なうなり、朝日町りんご産業の発展に寄与されました。

▼志藤正紀さん(川通)

永年にわたり、大谷果樹組合長として指導的役割を担われ、組織の強化と販売強化に尽力されるとともに、各種研修生を積極的に受け入れるなど、栽培技術の向上、後継者育成に寄与されました。

▼首井勝英さん(沼向)

J A さがえ西村山のりんご嘱託指導士として「シナノスイート」の技術指導や販売対策に貢献され、シナノスイート産地銘柄確立と朝日町りんご産業の発展に寄与されました。

▼朝日町セントアーリンゴ組合

葉とらずりんご生産者代表井澤壽一さん(夏草)低コスト・こだわり商品である「葉とらずりんご」の栽培技術を確立し、平成十六年九月に『ハレふじ』として商標登録し、新たな販売体制を確立するなど、朝日町りんご産業の発展に寄与されました。

▼朝日町果樹研究会代表志藤清市郎さん(川通)

常に先を見た情報把握を行い、「シナノスイート」の導入をいち早く組織を挙げて取り組み普及拡大に貢献されるなど、朝日町の「シナノスイート」産地確立に寄与されました。



前列左から 村山誠一郎さん、渡辺達男さん、川口議長、清野町長  
鈴木啓一さん、志藤正紀さん  
後列左から 菅井勝英さん、志藤清市郎さん、近衛正雄さん、多田光文さん  
清野庄一郎さん、井澤壽一さん



発酵棟の全貌 長さは約110メートルにおよぶ大きな施設



かくはんき  
搅拌機のスイッチを入れる鈴木喜美夫社長

## 大暮山地内に建設 朝日堆肥センターの試運転始まる

朝日堆肥センターの試運転開始式が11月2日、畜産農家ほか関係者ら12人が集まり現地で行われました。

今日、有機栽培や減農薬栽培による付加価値の高い農産物が市場（消費者）から求められている中、環境と調和した持続的な農業生産の展開と、安定した農業経営基盤の確立を図っていくためには、まずもって土づくりが必要であるという認識で、平成15年9月に「朝日町土づくり推進協議会」が設立。この土の元となる有機肥料（堆肥）を畜ふんを利用し製品化する施設が堆肥センターで、おおえ朝日地区中山間地域総合整備事業により、県が事業主体となって大暮山地内に整備してきたものです。

2.8ヘクタールの敷地内に「発酵棟」「糞殻及び製品の保管庫」「管理棟」の3施設を建設。施設は、町内から出る肉牛や酪農牛、豚の畜ふんを一日約10トン処理し、年間で約1,700トンの堆肥を生産する能

力を備えています。総事業費は約3億円。

来年の3月末日まで試運転が行われますが、県から町へ譲与された後、町は「有限会社朝日土づくり（鈴木喜美夫社長）」へ管理運営を委託する形がとられ、同年4月から正式な稼動が始まります。併せて、製品化された堆肥が町内の農家に販売。この売り上げと畜ふんの搬入代金で、施設を管理運営していきます。

鈴木社長は、「社員が一致団結し、この堆肥センターを運営していきたい」とあいさつ。現在のところこの施設を利用する畜産農家は、肉牛生産者4人、酪農家3人、養豚農家2人の計9人。

操作の安全を祈願した後、堆肥と粉殻を搔き混ぜ  
る攪拌機のスイッチが入れられ、幅約10メートルも  
ある大きな機械がゆっくりと動き始めると、関係者  
は一様に笑顔を見せ、優良な製品の生産に期待を寄  
せていました。

本列島に到来して、中でも台風15号・16号・18号が、町の基幹作物であるりんごを始めとする果樹に大きな被害を与えました。関係機関の被害状況が公表され、被害が大きく所得低下が著しい農家が生じることが予想されることから、町では、今年度にかかる町税等の納期未到来分について税の減免措置を行うため「平成16年台風災害による被害者に対する町税の特例に関する



この条例により対象となるのは、町民税と国民健康保険税の所得割の部分（前年の所得に応じて減免率を算定）及び介護保険料（所得の減少率により減免率を算定）となります。

減免申請手続きや詳しい内容につきましては、10月18日発行の「お知らせ板」に掲載していきます。不明なところがありまし  
たら、次のところまでお問い合わせください。

問い合わせ 役場税務町民課 町民税係  
☎ 67-2107(直通)

広報あさひまち 11月号



工事が進み様変りした現場を視察する参加者たち

## 豊龍の丘整備で現場内覧会

旧朝日分校跡地を整備中の豊龍の丘で、現場内覧会が10月31日行われました。これは、公園整備の状況を町民の皆さんにご覧いただき、今後の活用や整備について多くの方に関心を持ってもらおうと、豊龍の丘整

備推進協議会(多田賢司会長)が開催したものです。

当日は、あいにくの小雨模様にもかかわらず、宮宿地区の方を中心に約60人が参加。中には小学生の親子連れやご夫婦での参加もあり関心の高さが伺えました。

はじめに、現場担当の町建設課職員から今年度の整備計画や工事の進捗状況について説明があり、参加者たちは見違えるように整備されつつある公園を目の前にして、完成が楽しみな様子でした。また、今回の工事に合わせ通称「観光道路」周辺の雑木の伐採も行われ、小朝日岳や最上川、能中の一本松、りんご温泉などの眺望も開け、これまでと一変した眺めに参加者はびっくりしていました。

今後整備が予定されている水道タンクのある高台では、参加者が豊龍館址の説明をかけてくる場面もあり、自分たちの公園をもっと良くしたいと言う強い思いを感じられました。内覧会終了後の芋煮を囲んでの懇親会では、今後の具体的な整備の提案も出されるなど、更に夢の広がる内覧会となりました。



## 岡崎代表監査委員が全国町村監査功労賞受賞

東京国際フォーラムを会場に9月29日開催された平成16年度全国町村監査功労者表彰式で、朝日町代表監査委員の岡崎源吉さん（下芦沢）が表彰を受けました。永年にわたり、地方自治体（町村）の監査委員として在職し、功労のあった方を全国町村監査委員協議会が毎年表彰しているものです。

町には2人の監査委員があり、そのうち昨年5月から代表監査委員を務めている岡崎さん。毎月27日に前月分の収支状況について検査を行う「例月出納検査」のほか、10月下旬から11月上旬にかけて行う年度上半期の「定期監査」、6月から7月にかけて行う前年度の「決算審査」などがあります。その他、事業の内容や効果、契約書類などにも目を通し、適正な予算の執行に助言や指導を行います。



納車式で安全を祈願しポンプ車両を清める清野町長（手前）

## 最新鋭の消防ポンプ自動車を購入

町消防団第3分団第1部（大谷方面／阿部安彦部長）の消防ポンプ自動車が更新されました。

今回導入された自動車ポンプは、悪路、雪道などで高い走破性を有する高型4輪駆動車で、環境にも配慮した超低排出ガス車両。ポンプの性能も最新鋭のもので、ボタン一つで操作可能な優れものです。車載用の小型（可搬）ポンプも搭載され、道無き林野火災などの現場での対応にも機能を発揮します。新型ポンプ車購入で、3分団（北部地区）管内ののみならず、町消防団にとっても消防力が一段と向上することになります。

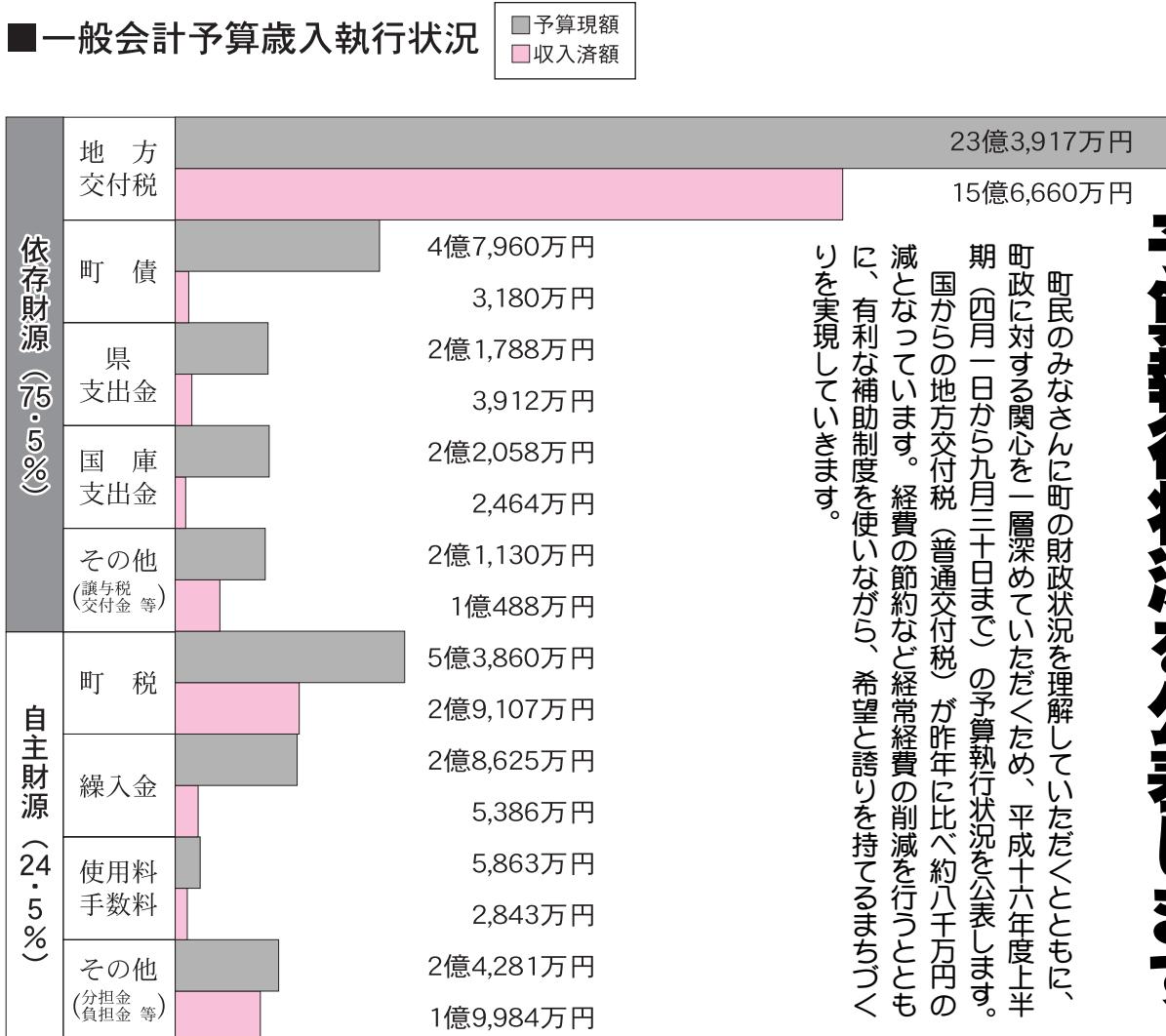
購入価格は約1,600万円。

10月22日に行われた納車式には、消防関係者ら約40人が出席。その中で、柴田七郎兵衛団長が「実火災で使用することがないよう、日々の訓練や予防消防に十分活用ていきたい」とあいさつしました。



# 希望と誇りを持てるまちづくり

## ■一般会計予算歳入執行状況



町民のみなさんに町の財政状況を理解していただくとともに、町政に対する関心を一層深めていただくため、平成十六年度上半期（四月一日から九月三十日まで）の予算執行状況を公表します。国からの地方交付税（普通交付税）が昨年に比べ約八千万円の減となっております。経費の節約など経常経費の削減を行うとともに、有利な補助制度を使いながら、希望と誇りを持てるまちづくりを実現していきます。

## 平成16年度上半期の予算執行状況を公表します



### 耐震性貯水槽の設置

火災などの有事の際、水利の確保が困難な町内3箇所（高田、白倉、大谷七）に40トン級の耐震性貯水槽を設置した。

事業費総額 13,545,000円



### 合併処理浄化槽へ補助

快適な生活環境づくりを進めるため、合併処理浄化槽の設置を推進。9月末日まで68基（補助金支払済58基）が設置された。

補助金総額 46,070,000円



### 学童保育事業の実施

小学校低学年等の児童の健全な育成を図るため、放課後、土曜日、夏休み等の長期休暇中に、適切な生活の場が設けられた。

事業費総額 932,000円

## ■主な使いみち

# 町の台所事情 (平成15年度決算より)

## ■町有財産の状況

土地	264万2,589㎡	建物	6万5,084㎡
温泉権	1,850万円	有価証券	7,172万円
出資金	5,470万円	預託金	0万円
出捐金	3,687万円	基金積立	9億3,925万円

## ■地方債(町の借入金)の状況

一般会計	66億6,657万円
集落排水事業	2,285万円
病院事業	8億5,872万円
水道事業	3億8,114万円

## ■主な財政指標

区分	朝日町 平成15年度	朝日町 平成14年度	県内市町村 平成14年度	全国類似団体 平成14年度
経常収支比率	95.9	96.1	88.3	85.1
公債費負担比率	30.2	28.2	20.1	18.6
公債費比率	19.4	17.6	17.0	15.2
起債制限比率	12.4	11.7	11.3	8.7
財政力指数	0.21	0.20	0.32	0.27

※平成15年度については未確定

## 用語の解説

### 経常収支比率

支出のうち人件費、扶助費、公債費など毎年必ず支払う義務的性格の経常経費に、毎年常に入ってくる町税、地方交付税、地方譲与税を中心とする経常一般財源の収入がどの程度充当されているかの割合。

町村では70%程度が妥当と考えられています。

### 公債費負担比率

公債費に充当された一般財源の一般財源総額に対する割合。この割合が高いほど、財政運営がきび

しい状況にあることを示します。

### 公債費比率

標準財政規模(町税、地方交付税、地方譲与税などの経常一般財源の収入額)に対する公債費に充当した一般財源に占める割合。

### 起債制限比率

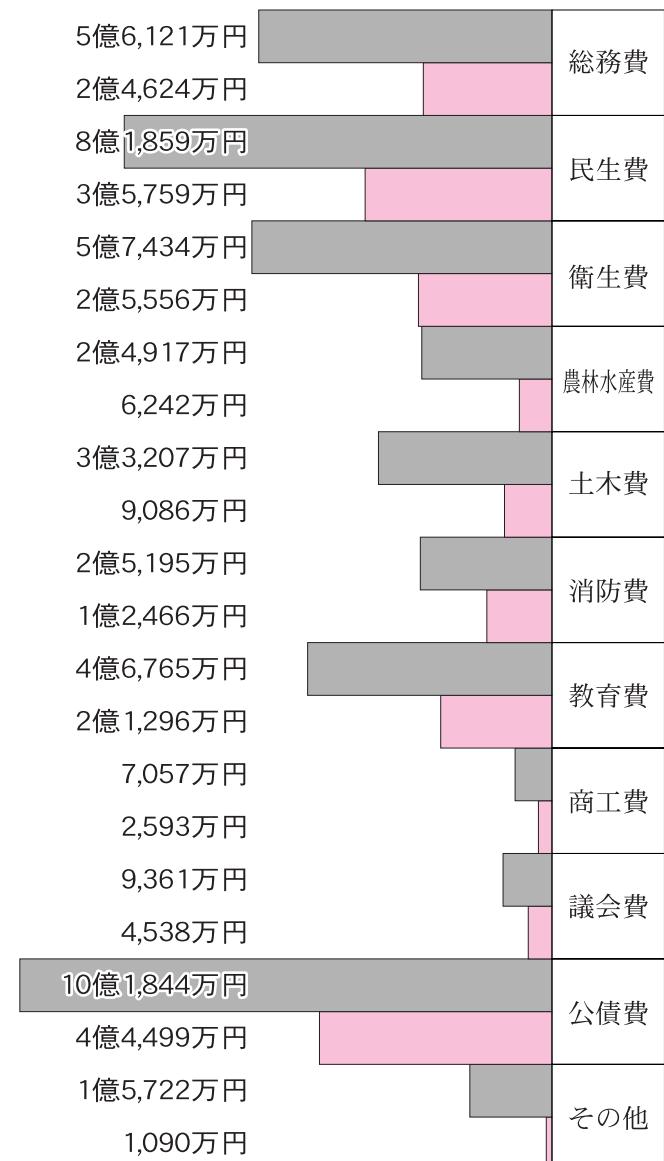
公債費比率の算出の際に使用された標準財政規模と公債費充当一般財源から、普通交付税に算入された地方(町)債の元利償還分を控除して算出した割合。

この比率が3カ年平均20%を超えると、地方債の発行(町がする借入)

# 創意と工夫で実現

## ■一般会計予算歳出執行状況

■予算現額  
■支出済額



## ■会計別予算および收支状況 (単位: 万円)

	予 算 額				收 支 額			
	当初予算額	補正予算額	繰越事業	予算現額	収入済額	対予算比(%)	支出済額	対予算比(%)
一般会計	428,800	25,720	4,962	459,482	234,026	50.9	187,748	40.9
特別会計	275,220	2,579	0	277,799	119,173	42.9	114,777	41.3
集落排水事業	3,420	0	0	3,420	719	21.0	316	9.2
国民健康保険	87,600	230	0	87,830	32,932	37.5	35,122	40.0
老人保健	119,200	1,199	0	120,399	53,605	44.5	51,912	43.1
介護保険	65,000	1,150	0	66,150	31,917	48.2	27,427	41.5
企業会計	101,860	0	0	101,860	45,411	44.6	41,767	41.0
病院事業	84,500	0	0	84,500	36,509	43.2	36,298	43.0
水道事業	17,360	0	0	17,360	8,902	51.3	5,469	31.5
合 計	805,880	28,299	4,962	839,141	398,610	47.5	344,292	41.0

※病院・水道事業会計は、収益的収支。



# まちの話題



## ①朝日町町制施行50周年記念事業 秋葉山緑化推進記念植樹



願いを込めて桜の木を植栽

秋葉山を桜の山に…。町制施行50周年を記念した植樹が11月7日、秋葉山グラウンドで行なわれました。大谷小学校の児童や町民ら約60人が参加。

清野町長ら関係者により、芝生広場へエドヒガンザクラとヨシノザクラが1本ずつ植栽、その側に記念の標柱が建てられました。その後、グラウンドの東側約50アールの斜面に、ソメイヨシノとオオヤマザクラ合わせて50本の若木が、<sup>おさなぎ</sup> 参加者らの手によって植栽されました。

一般公募で参加した堀修一さん（大谷七）ご家族。「50周年記念という滅多にないこの機会に迷わず参加を申し込みました。花を咲かせる頃が待ち遠しいです」と話し、我が子の成長を桜の木に託していました。

## ②りんごの樹オーナー収穫祈願祭



収穫祈願にオーナーら集結

りんごの樹オーナー制収穫祈願祭が10月24日、秋晴れとなった空の下、秋葉山交遊館で開催されました。平成9年に始まったオーナー制度も今年で8回目。5月9日の「開園式（樹の抽選会）」を皮切りに、「花摘み」「摘果」「葉摘み」の工程を経て、「収穫」前の「玉返し」の作業を行うこの時期に毎年行っているものです。

今年のオーナーは昨年より10人多い54人（55口／一人2口の人もいます）。この日参加したのは、その内27人のオーナーとその家族で約100人。午前中、作業に汗した参加者たちは、赤や白のワインやりんごジュース、バーベキュー、そして収穫を祈願する杵つき餅などを心ゆくまで味わっていました。

## ③街路樹（ハナミズキ）に肥料をやる育樹ボランティア



栄養摂って元気に育ってね

街路樹として大谷小学校前の歩道に植栽されている60本のハナミズキ。これまでも、同校のPTAが中心になった幹周辺の草刈りなど、自主的な活動のおかげで、これらのハナミズキは守られてきました。

きれいな花を咲かせ、登下校時の子どもたちを見守ってくれたハナミズキに恩返ししようと、大谷小学校（安食洋一校長／児童数115人）の全児童が10月22日、肥料をやる育樹作業を行いました。「お腹をすかしているハナミズキに栄養をいっぱい摂ってもらいましょう」とあいさつした安食校長。移植ベラを片手に各学年毎の持ち場に着いた子どもたちは「元気よく育ってね」と樹に語りかけながら、固形肥料の上に優しく土をふりかけていました。

## ④第40回朝日町芸術文化祭



### 40年の歴史を刻み華々しく

「わきあがる心のいづみ 感動のとき」をテーマに、今年で40回目を迎える町芸術文化祭が11月3日の文化の日と4日の両日、創遊館、西部公民館、秋葉山交遊館、そして移動芸能発表会の会場となった高田ふれあい交流センターの4会場で開催されました。

昭和40年7月に町芸術文化協議会が結成。その年に記念すべき第1回の芸文祭が開催されました。これまでの間に、会場も「宮宿小学校」「左沢高校朝日分校」

「開発センター（昭和46年）」そして現在の主会場である「創遊館（平成12年）」と、各種公共施設の建設に伴い4回変わっています。このような時代背景の下、町民の芸術文化を愛する心は変わることなく育まれ、その集大成が40年という長い歴史を作り上げました。

町芸術文化協議会、安藤直良会長は、「県内でも早い時期に結成された本協議会。この間、上部団体より表彰されるなど、他には負けないより質の高い活動を続けている人もこの町にはたくさん存在する。そんな中、大きな節目を迎えた芸術文化祭。今後は新たな節目となる50年に向けて一路邁進していきたい」と抱負を語りました。

芸術文化関係で特に功績があり、式典の中で表彰を受けたのは次の2団体、6個人の方々です。

- ▼あさひ芸術文化賞…浅井周作（元町／絵画・工芸）  
▼同功労賞…斎藤チエ（大町／華道）、松本則雄（常盤／墨絵・書道）、長岡啓一（四ノ沢／華道）、浅岡米五郎（元町／詩吟）▼同奨励賞…児珠孝童（立木／茶道）、民舞鶴見会（鶴見ふじ子代表）、コーラスすみれ会（阿部康子代表）  
【敬称略】

## ⑥第51回西村山地区駅伝競走大会



### 朝日町チーム連覇ならず3位に

秋の西村山路を駆け抜ける地区駅伝競走大会が10月31日、創遊館前をスタート。1市4町をめぐり寒河江市体育館までの7区間61.3キロのコースに健脚を競い合いました。

管内から7チームが参加。序盤、レースの主導権を握ったのは寒河江Aと大江。それを追う形で朝日と西川Aが続く展開となりました。上位を伺い我慢のレースを展開する朝日は、長丁場の6区で海野裕明選手（長沼）が区間2位の走りでトップに躍り出る快走を見せましたが連覇はならず。3位でのゴールとなりました。

## ⑤前田沢いきいきクラブ活動

### 豪快な杵つき餅を味わう

前田沢地内の国道沿いに立ち並ぶかかしと言えば、前田沢いきいきクラブのみなさんによる恒例の活動。このような地域に根ざした活動が評価され、先般の交通安全町民大会で功労賞を受賞しています。その祝賀会が10月17日、地元の公民館で賑やかに開催されました。

秋の収穫祭とも銘打ったこの行事には、地元の祭り好きの人から成る獅子舞会（大場勝一会長）が全面的に協力。杵臼を持ち寄り、参加した約25人のお年寄りたちにつきたての餅を振る舞いました。

久しぶりに見る豪快な餅つきに、参加したお年寄りたちは「懐かしいねえ」と語り、やわらかな餅を口にしていました。



## ⑦社団法人 寒河江青年会議所主催 児童文化賞授賞式



### 上郷子ども会育成会が最優秀賞

管内の児童生徒の健全な育成と子どもたちの豊かな心を育むことを目的に、社団法人寒河江青年会議所が毎年主催している「児童文化賞授賞式」。

第37回目を迎える今年は10月24日、寒河江市ハートフルセンターで行われ、閉校した校舎を利用し地域に根ざしたボランティア活動を行っている上郷地区子ども会育成会が最優秀賞を受賞しました。永年にわたる白鳥への餌付け活動も他の模範であると高く評価され、今回の受賞となりました。

## ⑧寒河江西村山地区女声コーラス交歓会



### りんごの里に爽やかな歌声

寒河江西村山地区女声コーラス交歓会が10月16日、

創遊館ホールで開催されました。朝日町から参加のコーラスみれ会（阿部康子代表）ほか、管内から5団体（総勢100人）が参加。日頃の練習の成果を発表し合いました。

伝統を引き継ぎ今年で30回目を迎えるこの交歓会。「継続は力なり」という言葉がピッタリ当てはまる毎年恒例のイベントとなりました。ピアノの演奏と爽やかなハーモニーがホールいっぱいに響き渡り、発表が終わると観客からは盛んな拍手が送られました。

「旅愁」の全員合唱で始まり、終わりも「今日の日はさようなら」の全員合唱で締めくくった今回の交歓会。美しく艶のある若々しいハーモニーは、これからもまだまだ引き継がれていくことでしょう。

## まちの話題②

## ⑨旧小学校(上郷・立木・水本)を利用し多彩なイベント開催



### 窓越しの光の芸術に挑戦

「でっかい風景のぬり絵だヨ！全員集合」と題し、学校の窓をステンドグラスにする行事が10月24日、旧立木小学校で開催されました。朝日町あたらしいがっこ設立支援委員会が主催したもので、地区内の小学生や大人たち約40人が参加。東北芸術工科大学の学生らの指導を受けながら、少しだけ色付き始めた山と真っ青な空をバックにした大きなキャンバスに、思い思いの絵を描いていました。限りない子どもたちの感性に富んだ作品や、昔子どもだった人の童心に返った作品が、所狭しと作られていきました。

小さな芸術家、西五百川小4年の阿部拓実君（立木）は、「すごく楽しい。4作くらいは作りたいな～」と語り、器用な手つきで黙々と窓越しのキャンバスに向かっていました。



### 「夢」の人文字に感動

昨年に引き続き2回目となる「夢みる音楽会Ⅱ」が10月30日、旧水本小学校で開催されました。価値ある水本小を活かす会「生楽耕」（高橋寿之代表）が主催したものです。会場には作谷沢小中学校（山辺町）と宮宿小学校両校の子どもたちを始め、区民ら約150人が

参加。日頃はひっそりとたたずむ丘の上の校舎に、命を吹き込むような大きな歌声と演奏が響き渡りました。

音楽会が終了する頃にはすっかり日も暮れ、手作りのキャンドルを両手に校庭に出た参加者たちは、手元で優しく灯る明かりで人文字を作りあげました。その文字は「夢」。山の陰から登場したセスナ機による撮影に、参加者たちの気の高まりも最高潮に…。

高橋さんが「何か心に残るものがあったら嬉しい。みなさんの歌声を聞いて勇気づけられました。また来年につなげていきたいです」とあいさつ。会場は、音楽会の終了を惜しむ人たちの拍手に包まれていました。



### 「寄り道」をテーマに展示会

10月17日から30日までの期間、旧上郷小学校を会場に、東北芸術工科大学生の作品展が開催されました。

作品のテーマは「寄り道」。紙粘土で作った多数のネズミを物置に置いたり、廊下の床に描かれたアリを追いかけると大きなアリの模型にたどりつくようにするなど、展示方法を工夫した個性的な作品17点を展示し、訪れた人たちの目を楽しませました。

オープニング初日には、バイオリニスト安部敦子さん（山形市）の演奏会が行われ、大勢の地区民がプロの奏でる美しい音色に感動。演奏終了後は参加者全員による交流会が催され、熱々の芋煮を食べながら懇親を深めました。芋煮の準備や会場案内の看板設置などは、地区の有志たちが担当。鈴木昭一上郷地区連合区長は「学校跡地の問題は地区にとって大きな課題です。今回、東北芸工大のご協力により、このようなイベントを開催できたことを感謝します」と話していました。

上郷小学校では、来月12日にも郷土が生んだ詩人「海野秋芳シンポジウム」が開催されます。



# みんなのひろば



となりの  
おひるねさん  
作・ホリイ (167)



広報紙で振り返る

## 朝日町の50年 最終回 (昭和29年11月～平成16年10月)

「広報あさひに見る朝日町50年の歩み」から、改めて時の流れの速さや懐かしさを感じ、これから先の思いなどを新たにしていきます。

広報紙の役割として、行政サービスのPRや協力のお願い、暮らしや生活の向上をめざした啓発と普及、自立や自治意識の高揚、有益な地域間の情報の交換などがあげられます。その時々、広報担当者は昼夜を分かたず駆けめぐり回つて取材し、身近な話題をより身近なものとしてお知らせするためには編集してきました。

どこの市町村も、この広報広聴活動に力を入れ、紙面からはその自治体の個性や活況・課題などが手にとるように分かると言われます。まさ



しています。

おりしも、町政執行の最高責任者の選挙をあすすに控え、慌しい晩秋の時ではありますが、しばし過ぎ

難などをはじめ、三位一体の行財政改革など依然として大きく重い課題が山積

行政への依存は先行きが見えています。一人でも実行する、だめなら仲間や隣組で工夫してみる、地域の力を借りてみる、さらには行政との間に知恵を絞ってみる。必要があれば県や全国レベルの連帯や行動も辞さない。すでに、役場企画課内では「協働推進係」という体制で稼動しています。

これからは『広報あさひまち』は、さらにシステムや考えを進化させながら、生活の主体者たちが活動する工夫や失敗、熱気や希望を伝える「新たな町・地域づくり」の共有媒体として、一層の役割が期待されています。

## 新たな町・地域づくりの共有媒体としての広報紙の役割に期待

に、地域や町の現況、人々の生活の総体が見えると言えます。

さて、わ

が町も「自立の道」を選んだとは言え、人口の減少や高齢化、結婚

し日々を振り返りながら、お互いに歩みを慎重に聞きたいと思います。今から「自分には何ができるか」を自らに問い合わせ、「彼には何ができるか」を慎重に聞きたいと思います。その参考資料として、これまでの広報紙のあちこちに諸先輩の残してくれた素晴らしいヒントや知恵が沢山あります。

紙面の構成上  
お休みします。

- ①町民の声
- ②あさひまちの宝箱
- ③今月の新刊



平成16年(2004年)  
■10月1日～10月31日届出



## すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
緑町	設樂まひろ	女	英啓・育子
前田沢	熊谷若葉	女	良作・明実
沼向	山賀季華	女	康範・三紀
大谷五	渡邊日向	男	健一・友美
送橋	渡邊祐介	男	淳・圭井子



## おしあわせに

多田 智法 (太郎三)	佐藤 美香 (寒河江市)
成原 慎二 (栄町)	浦山 梓 (寒河江市)
志賀 善一良 (西原)	武富 和子 (東京都)
今井 正則 (新宿)	船山 久美子 (白鷹町)



## やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
大谷三	鈴木はるよ	光三
夏草	阿部 隆藏	隆浩
大町	鈴木 健一	孝彦
大滝	佐藤 はな子	武志
大滝	佐藤 満	重喜
松程	阿部 孝次郎	功
大谷三	鈴木 正和	昭由
下芦沢	岡崎 作兵衛	清
常盤	長岡 忠作	忠志
大谷一	大竹 すゞゑ	光雄
大谷四	鈴木 正一	征司
沼向	高橋 ミノ	幸夫

## 人口と世帯数

●平成16年10月31日現在  
人口 8,951人(減12人)  
男 4,442人(減5人)  
女 4,509人(減7人)  
世帯数 2,571戸(増2戸)  
( )内 前月比



常盤  
長岡昭博さん  
史織さん

中学2年生の時、同じクラスで級長を務めたというお二人。同じ高校を卒業後、昭博さんは山形、史織さんは千葉の学校へ進学。それ離れればなれになるも、赤い糸は二人をそのまま放っておくわけがありませんでした。それから2年後の成人式で二人は再会。そして、昭博さんは町役場に、史織さんは町立病院に就職します。

そんなある日、昭博さんのおばあちゃんが体調を崩し町立病院に入院。「親身になって看護してくれている史織さんの姿が印象的で、今でも忘れられない」と語る昭博さん。そんな彼に「親友にしか話せないことも話すことができたんです」と心の内を振り返る史織さん。

その後、二人の関係は急速に進展。昨年の8月3日に付き合いが始まり、ちょうど1年後の今年8月3日入籍。この日にはこだわりがあつたと話していました。しかし、これまでドタバタしていて、思い通りのプロポーズができないでいたという昭博さん。「幸せな家庭を築いていく。俺に付いてこい!」素直な思いを披露宴の席でしっかりと話すことができたということです。

史織さんから「お酒とタバコを控えて、体には十分注意してね。家事や育児の面でも協力をお願いします」

昭博さんから「仕事も時間的に不規則なところが多いので、体をいたわり、いつまでも元気な笑顔でいてください」

## 締め切り間近! わたしの町の「音」募集

応募の際は、広報紙の折り込みはがきや官製ハガキに、①応募する音、②その音にまつわる思い出やエピソードあるいは推薦したい理由などを一〇〇字以内で、③住所、④集落名、⑤氏名(ふりがな)、⑥年齢、⑦電話番号を記入し、町広報委員会事務局(役場企画課 671-2112)までお郵送ください。なお、応募締切は月末日です。

【町広報委員会】

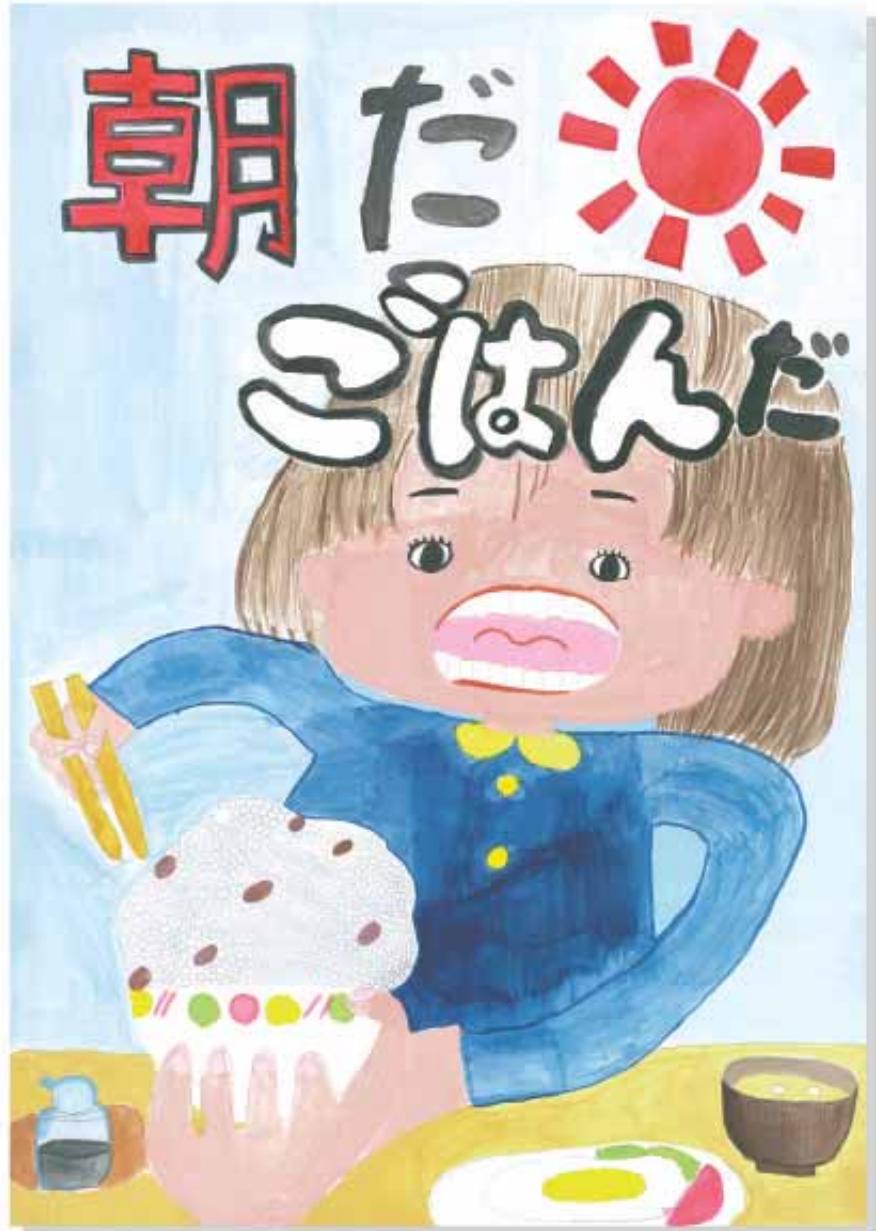
心に響くわたしの町「朝日」の音を募集します。来年の元旦号あたりを利用してみみなさんに紹介していくたい考えです。

「ふと気付くとそこにあれる音」「なぜか心が安らぐ音」「ぜひみんなにも聞いてほしい音」など、十人十色の心に響く音があるはずです。目を閉じて耳を澄ませてみてください。日頃聞き慣れない音が、みんなの耳に飛び込んでくるはずです。



# 山形ライステーポスタークール

主催 村山広域農業振興会議  
やまがたこだわり安心米推進運動村山地域実践本部



## 最優秀賞「朝だ ごはんだ」

朝起きて、朝食をいつも食べて、元気で学校へ行きたくなり始めたの。このポスターを描きました。私は今、学校がとても元気であります。朝食は良く噛んで食べるといいしい味がしみ出でるので、朝から良く噛んでいっぱい食べています。

このポスターを見て、朝食が苦手な人にもたべるん食べてもらひて、元気になつてほしいと思います。最優秀賞なんて思いもしなかつたので、うれしいです。（大谷小学校3年 志藤汐莉さん）

## 春 夏 秋 冬

### 編集後記

秋だけなわ。一年の中で、最も色彩豊かな季節がやってきました。朝晩が冷え込むようになって、紅葉が一気に進んだ感じがします。天気のいい日には、真っ青な空に浮かび上がるような黄金色のイチョウや、太陽の光をいっぱい浴びて、これでどうだ！とばかり真っ赤に染め上がりだんづじなどが、目の前に飛び込んできます。しかし今年は、このような当たり前秋の気配を感じることができない幸せを、改めて嘆みしめないです。しかしながら、今年は、これまで通り前年の秋の気配を感じることができない幸せを、改めて嘆みしめないです。この季節の雨は、濡れ落ちた

葉や頭を垂れるススキの穂などが、冷たい雨をより冷たく感じさせます。朝晩冷え込むこの時期、寒さをしのぎ肩を寄せ合っている人たちがいます。耐えている人たちがいます。

十月二十三日、午後五時五十六分に発生した新潟中越地震。余震が治まらず、被災地では今までなお不安な状態が続いています。被災者の方々に心からお見舞いを申し上げますと共に、復興作業が進み、早期に通常の生活を取り戻せますことを祈念申し上げます。

届けたい  
被災地に 紅葉の温もり  
(はやけん)

